

DO YOUR BEST



NO. 212

2022.1 発行

一般社団法人
福島県介護福祉士会
文責 小山田 米子

介護福祉士

『会長挨拶』

会長 小山田 米子



2022年 新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様、今年こそ輝かしい一年になりますように、そして、あたりまえの生活が戻り明るく笑顔で健康な日々を送れますようにと願っております。

去年は、念願でした認定介護福祉士養成研修が受講生31名でスタートできました。今年度は、ネクスト人材育成（30～45歳）研修の強化をして行きたいと計画しております。会員の皆様の介護の質の向上とチームリーダーとしての精進を目標に研修を実施したいと思っております。「挑戦する第一歩前進」をお待ちしております。

感染症対策をしっかりとしまして、楽しい時間をお過ごし下さい。

【福島県にて、認定介護福祉士養成研修 開講！！】

県中方部 長坂 良子

12月18日、認定介護福祉士養成研修が始まりました。令和5年12月まで2年間の研修、（長い！！）福島県の受講生は31名と全国でも多いとのこと。

初回のテーマは【認定介護福祉士概論】認定介護福祉士とは、利用者のQOL向上や介護と医療の連携強化、適切な役割分担による介護人材不足の解消、地域包括ケアの推進など介護サービスの高度化に対する社会的な要請に応えていくことが目的で、介護福祉士のキャリアアップのための新しい仕組みです。

それらを講義で確認した後、認定介護福祉士のイメージ、必要とされる能力などグループワークなどを通し皆で共有しました。

今後、心理や医療、福祉用具、チームマネジメントなど様々な分野についても学んでいきます。

認定介護福祉士は全国で100人もおらずまだまだ上位資格として皆が目指す資格となるべく、働いている施設はもちろん、地域においても活躍できる存在となれるよう、多くのことを学んでいきたいと思っております。



寅



一般社団法人 福島県介護福祉士会



FUKUSHIMA

〒963-0108 福島県郡山市笹川一丁目184-29 クレストハイツ184 102号室
FAX 024-943-1848 E-Mail jaccw_fukushima@ybb.ne.jp
ホームページ <http://www7b.ne.jp/~jaccw-fukushima/>



【倫理委員会より】

倫理



コロナの状況は少し落ち着いてきましたが、近頃オミクロン株の感染が心配な状況です。施設入所していた98歳の母ですが、今年の8月蔓延防止措置の中で老衰により亡くなりました。生前から100歳を目標にしており、面会した時はよく「私はまだまだ大丈夫だよ！100歳になったらみんなにお寿司をごちそうするね」と口癖のように話していました。コロナ渦の中では面会制限がありなかなか会えず、ズームと窓越しの面会が数回でしたが、変わらずに元気にしている様子でした。遠方にいる姉達や妹にも「合いたいなあ〜」と寂しそうに話していましたが「コロナが落ち着いたらみんなに会えるよ」と、母がいつまでも元気だと思い納得してもらっていました。高齢なのでいずれはと覚悟はしていましたが、まさかコロナ渦の中に亡くなるとは思っていませんでした。生前、母がみんなに会いたいと話しておりその思いはわかっていたので、母が亡くなってからは、姉達や妹とズームで面会をすればよかったのかと、考えてしまうことがありました。コロナ渦の中でどうしたらよかったのか？と悶々とするすることがあり「本人の思いを大事にする」ことの難しさを実感しました。母は亡くなる時、苦しむことなくとても穏やかで安らかな表情で息を引き取りました。大往生でした。亡くなってから、様々な思いはありましたが、母の亡くなるその場に立ち会えたことを感謝し、これから毎日を精一杯生きていくことが母への供養だと思っています。

会員からのお話でした。私達、介護福祉士は、利用者さんの最期の時に付き添う家族にどのように接することができるでしょうか。それぞれが考えながら、仕事に向き合っていきたいものです。



【いわき方部 介護の日イベント】



いわき方部 高橋 弘己

令和3年11月3日から11月7日まで、いわき市健康福祉プラザ いわきゆったり館にて介護の日イベントを開催しました。今年度はコロナ感染予防対策の観点から三密を避け、人が集まる交流やセミナー等の開催は企画せず、イベント内容を検討しました。自然災害、そしてコロナ感染症の流行も災害と捉え、こういう場面だからこそ社会的に必要とされる、また頑張っている介護福祉士の現場や姿を見せていこうという思いで、写真展示を行うことにしました。展示ブースに、感想意見コーナーを設け、2通の暖かいメッセージをいただきました。写真という形で客観的に介護福祉士や自分達の姿をみると、より前向きにそして優しく頼れる存在であるという認識が持てると写真提供者からコメントがあり、士気を高めることができたと思います。





福島



昨年より実家の両親を介護しながら猪苗代から会津若松に通勤しています。朝の忙しい時間に家を出発。暫く走ると国道49号線に突き当たります。私の生まれ育った故郷の猪苗代湖がパノラマになって視線に飛び込んできます。朝日が昇り「長浜」に到着すると必ず一休みをします。毎日、見ているのに何故か毎回違う風景に出会うのです。季節によっても様々な表情を見せてくれます。

朝は【さあ！今日も新しい一日が始まるよ。笑顔で・・・と励ましてくれます。】夕方は【今日も、一日お疲れさま・・・と迎え入れてくれます。】



別名「天鏡湖」と言われ、天を映す鏡のように美しい猪苗代湖、後ろには雄大な磐梯山が私の心と体をすっぽりと包み込んで守っていてくれるような気持ちになります。猪苗代は、GW中の桜満開に代表されるように、四季折々の姿がとても素敵な故郷です。皆さん、コロナ禍で県外に旅行することもできないご時世ですが、猪苗代に訪れると素敵な景色に出会うことができます。



コロナ禍の【不安・焦り・悲しみ】を、【前向き・楽しみ・喜び】の心に変えてくれる自然があなたを待っています。是非、私の故郷、猪苗代においでくださいね。

編集後記



2022年、令和4年を迎えました。

皆さん、どんなお正月をお過ごしでしょうか？

介護職員として働くみなさんの多くは、お正月も関係なくお仕事されている方も多いのではないのでしょうか。

お正月といえば、おせち料理やお正月の遊びを利用者と楽しんだりできるのも、お正月勤務の楽しみではありますよね。ちなみに私のお正月の楽しみは箱根駅伝です。

今年も新型コロナとの関係は続けていかななくてはなりませんが、引き続き上手にお付き合いしていきたくね。

今年はどんな一年になるでしょう。皆さんはどんな年にしたいですか？

個人的には、日々の小さな幸せを大切に、そして健康であることに感謝して、心穏やかに過ごしていきたいと思っています。

皆さんにとって、良いお年となることを願いながら・・・今年もよろしくお願いします。



2022



コロナ禍で、介護職だからこそ
の体験（嬉しかったこと、励ま
されたこと）エピソード大募集！

応募期間：令和4年1月1日（土）～1月31日（月）まで

応募
方法

この応募用紙を福島県介護福祉士会まで、FAXにてお送り下さい。

FAX：024-983-1848

当選
発表

広報委員会にて厳正なる抽選を行い、3月号にて発表致します。



会員番号	フリガナ	年 齢	性 別
	氏 名		男・女
〒			
ご住所			
電話番号 （ ） —			
タイトル： ※具体的な内容をご記入下さい。			

おまちしています